

# さとうゆみ

## きらめく未来づくり通信

2021年(令和3年)7月発行 NO.46

〒480-1157 長久手市桜作1708-1  
TEL 0561-61-6991  
携帯 090-5863-9971  
E-mail:info@satoyumi.net

市民の想いで  
まちは変えられる！



さとうゆみ議会報告会  
9月11日(土) 14時～16時  
長久手交流プラザ1階多目的室

### GIGAスクール構想は順調か？

《さとうゆみ6月議会一般質問から》

国の方針により、小中学生に1人1台のパソコンを配備する「GIGAスクール構想」が進められており、長久手市でも、パソコン(タブレット型端末iPad)が配備されました。長久手市でGIGAスクール構想の開始までにかかった費用は約7億2,700万円で、国からの補助金が約2億5,000万円、市の負担が約4億7,700万円です。また、機器の保守やICT支援委託などの費用が別途年間約2,800万円発生します。

**Qさとう** 1人1台のパソコンをどのように使用しているか。

**A教育部次長** 社会科の調べ学習、道徳科の意見共有、ドリル学習などに使用している。

**Qさとう** 家庭へ持ち帰る際の破損を補償する保険代を保護者負担としている自治体があるが、本市はどのようなか。

**A教育部次長** 持ち帰りを試行的に実施する段階では、原則公費負担と考えているが、試行後にまた検討する。

**Qさとう** 今後も新型コロナウイルスにより休校になる可能性があるため、オンライン授業の体制は整えているか。

**A教育部次長** まずは、2学期中に適応指導教室「N-ハウスあい」と学校間で試行し、検証したい。

#### ～さとうゆみの考え～

パソコンを活用するには、教員のスキル向上を支える体制を整えることが必要だと考えます。家庭への持ち帰りやオンライン授業について、通信環境のない家庭数を把握していないなど他市町と比べて出遅れているので、早急に準備するよう求めました。

### 生活困窮者自立支援事業の学習支援について

**Qさとう** 生活保護世帯、ひとり親世帯、就学援助費受給世帯等の中学生を対象に学習支援を行っているが、定員オーバーで12人が受けることができなくなった。追加の受け入れはできないか。

**A福祉部長** 市の限られた予算で行っているのをご理解いただきたい。

#### ～さとうゆみの考え～

学習支援は2カ所の学習塾に委託(委託費の1/2は国庫補助金)し、行われています。今年度は申し込みが多く、12人が受けられなくなりました。中学生の1年間は貴重な時間なので、定員オーバーで断って終わりではなく、市としての対応が必要だと考えます。

### 性犯罪・性暴力が発生しない環境づくりを

令和3年5月、「教員による性暴力防止法」が国会で可決成立しました。子どもへのわいせつ行為で教員免許が失効しても、3年の欠格期間を経過すれば自動的に再交付されてきましたが、この法律により再交付は極めて難しくなります。内閣府は、令和2年度から令和4年度までの3年間で「性犯罪・性暴力対策の集中期間」と定め、取り組みを強化しています。

**Qさとう** 小中学校で教職員等から立場の弱い子どもへ性暴力が発生しないよう、何か対策をしているか。

**A教育部次長** 児童生徒と私的なメールや電話等のやり取りがないか、校外や個室で2人きりで面談等を行っていないかなどの点検を年4回行っている。

**Qさとう** 内閣府と文部科学省が作成した性暴力対策の教材を保育園の子どもたちに見せていかないか。

**A子ども部次長** 各保育園で活用できるよう準備を進める。

#### ～さとうゆみの考え～

子どもが成長する過程の現場に関わる市において、性犯罪・性暴力から子どもを守る積極的な取り組みを進めるよう求めました。子ども自身が性犯罪・性暴力を認識できるようにする教育も大切だと考えます。市民への相談窓口の周知についても要望しました。



### 市の外国人住民への対応強化を



**Qさとう** 本市の外国人住民は何人か。

**Aくらし文化部長** 令和3年5月31日時点で1,046人である。

**Qさとう** ごみ分別の案内のみ多言語化しているが、日常生活に必要な他の情報も多言語化するべきではないか。

**Aくらし文化部次長** 先進地の事例や本市の外国人住民のニーズを参考にしながら、多言語化していく。

**Qさとう** 日本語指導が必要な児童生徒への学校での学習支援は、ボランティアではなく市の施策として行えないか。

**Aくらし文化部次長** 一足飛びには難しいので、ボランティアの増加を目指して対応していく。

#### ～さとうゆみの考え～

本市の外国人住民は増加傾向です。防災、医療、子育てなど生活に必要な情報を市から外国人住民へ届ける努力が必要だと考えます。また、長久手市の小中学校に通う日本語を母国語としない子どもへの学習支援体制の強化も求めました。



## 市内在学の大学生も消防団員になれる

「消防団条例の一部改正」の議案を可決しました。これまで「市内在住」または「市内在勤」の18歳以上の人が消防団に入団できましたが、今回の改正で「市内在学」の18歳以上の人も入団できるようになります。

条例上の消防団員の定員は160人ですが、現在120人となっており、団員確保に課題があります。市内の大学に通う学生の入団を進めることで、市は約20人の増加を見込んでいるそうです。市内に住む大学生の団員は現在0人なので、市内在学の大学生に入団してもらうとともに市内在住の大学生にも入団してもらう努力が必要だと考えます。



## 新しいN-バスを購入

新しいN-バス1台を1,999万8,000円(税込み)で愛知日野自動車から購入する議案を可決しました。13年を超えて70万キロ以上走行したN-バスを買い替えるもので、宝くじの助成金1,000万円を購入費に充当します。新しいN-バスも、今と同じ36人乗りの日野のポンチョです。

今年4月1日からN-バスのルートとダイヤが一新されましたが、どのような感想をお持ちでしょうか。



## 市役所新庁舎、新体育館は整備できるか？

昭和42年に建設された長久手市役所本庁舎は、建物の老朽化(防災拠点としても不十分)と人口増加に伴う事務スペースの著しい不足から、新庁舎への建て替えが平成27年度に決定されています。また、現在の市役所北側に新体育館を整備する方針も出されています。

市は令和3年5月、令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間とする「長期財政計画」を策定しました。この計画には、「約52億5,000万円かかる新庁舎と約63億円かかる新体育館の整備を実施するために現状では約27億円の基金(貯金)が不足する」とあります。先に新庁舎を整備するための基金(貯金)を令和13年頃まで積むとしており、新庁舎の整備は早くも令和13年度以降になるそうです。新体育館の財源確保についてはこの計画に全く書かれていないため、実現性は低いのではないのでしょうか。財源の裏付けがないまま方針を出すことは問題だと考えます。

(財源内訳)

項目	金額	備考
地方債	3,200,000千円	起債対象となる経費の70%を想定
基金	2,049,800千円	地方債以外の部分は基金を想定
補助金	0千円	
合計	5,249,800千円	

↑新庁舎整備の財源:庁舎建設事業には国や県の補助金がなく、借り入れできる最大限の70%を地方債(借金)、残りを基金(貯金)で賄う

9月議会…8月30日(月)~9月30日(木)までの32日間  
一般質問9月15日(水)16日(木)17日(金)午前9時30分~

## もえるごみ袋を大幅値上げする市の方針

市は、令和5年7月1日からもえるごみ袋を値上げする方針です。Lサイズは現在の1枚15円から50円へ、Sサイズは1枚10円から30円へ、SSサイズは1枚8円から20円へ大幅な値上げの案です。もえるごみ袋以外のプラスチック製容器包装の袋、もえないごみの袋は値上げしないそうです。

市は値上げの方針を出しただけで、まだ決定ではありません。大幅な値上げとなるので、なぜこれだけ値上げしなければならないのか根拠を明確にして、市民に説明する必要があると考えます。値上げにより、年間約1億円の増収見込みとなるそうです。

《令和5年6月30日まで》

種類	サイズ	袋1枚の価格
もえるごみ	L	15円
	S	10円
	SS	8円
プラスチック製容器包装		15円
もえないごみ	L	20円
	S	15円

《令和5年7月1日から》

種類	サイズ	袋1枚の価格
もえるごみ	L	50円
	S	30円
	SS	20円
プラスチック製容器包装		15円
もえないごみ	L	20円
	S	15円

## 市が掲げているもえるごみ袋を増額することのメリット

- ・市民の分別意識が高くなり、もえるごみ袋の中に混入する資源の量が減り、ごみの減量につながります。また、資源として回収する量が増え、リサイクル率が上がります。
- ・1人1日あたりのごみ排出量が減ります。
- ・ごみの収集時間が早くなります。
- ・カラスや猫などによるごみの散乱被害が少なくなります。
- ・増額により増えた市の財源を活用し、ごみ収集に関する問題解決のための施策に充てることができます。

## 30年前と40年前のタイムカプセル

今年度、30年前と40年前に埋められた2つのタイムカプセルの掘り起こし工事が行われます。



30年前のタイムカプセルは、松ヶ池体育館の駐車場付近にあります。町制20周年記念で埋められたもので、「町制50周年目の2021年に開封」とあります。偶然にも、2021年の町政50周年は市制10周年と重なりました。

40年前のタイムカプセルは、市役所西庁舎の入口付近にあります。町制10周年記念で埋められたものですが、開封時期が書かれていないため、上記のタイムカプセルと同時に開封するそうです。当時の町長や議長のメッセージ、町の計画やパンフレット、小中学生の作文などが入っているようです。開封が楽しみです。

さとうゆみブログ毎日更新中→



## ☆さとうゆみプロフィール☆

1978年名古屋市名東区生まれ  
2000年南山大学文学部卒業、損害保険会社に勤務  
2011年市民活動を経て33才で長久手町議会議員に初当選  
2015年2期目当選、2019年3期目当選  
家族:夫、息子(大学1年生)、娘(中学1年生)

さとうゆみはどの政党にも属さず長久手に暮らす人の視点で活動します!

この通信の発行には一部政務活動費を使用しています(政務活動費は月1万円)